

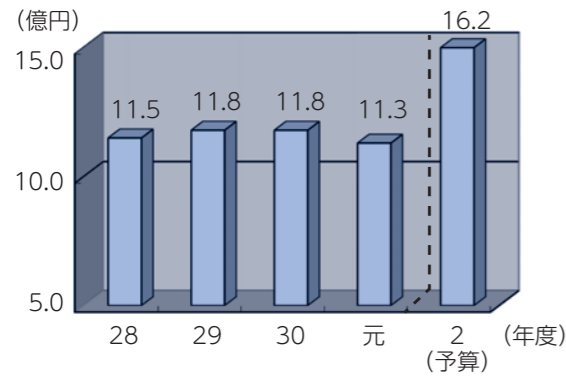
主な経費などの推移

(平成30年度までは決算額、令和元年度は3月補正後予算額、令和2年度は当初予算額)

人件費の推移

(単位：億円)

年度	28	29	30	元	2
人件費の推移	11.5	11.8	11.8	11.3	16.2

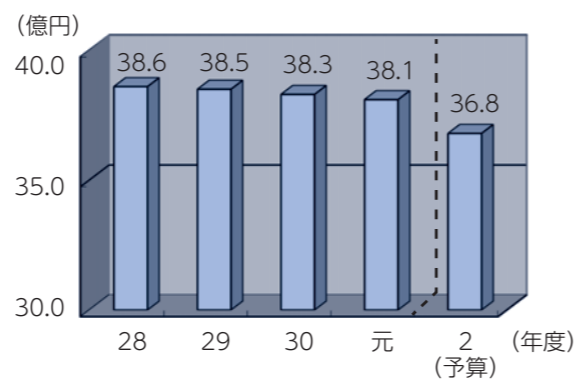


人件費の主な増額要因は、前年度退職者数の増加に伴う退職手当組合特別負担金の増額や、会計年度任用職員制度の施行に伴う増額等です。

基金(貯金)残高の推移

(単位：億円)

年度	28	29	30	元	2
基金(貯金)残高の推移	38.6	38.5	38.3	38.1	36.8

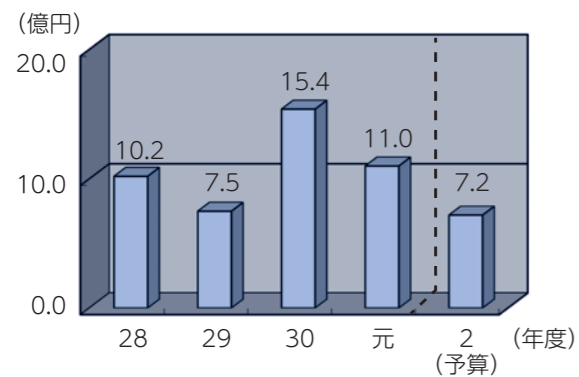


基金残高減少の要因としては、岸本保健福祉センター空調改修やあさひ保育所長寿命化改修をはじめとした、公共施設の長寿命化工事の実施等に対応するための公共施設等整備基金や財政調整基金等の取崩しが挙げられます。

建設事業費の推移

(単位：億円)

年度	28	29	30	元	2
建設事業費の推移	10.2	7.5	15.4	11.0	7.2



建設事業費の主な減少要因は、役場庁舎(本庁舎・分庁舎)の改修工事をはじめとしたインフラ整備の減少です。

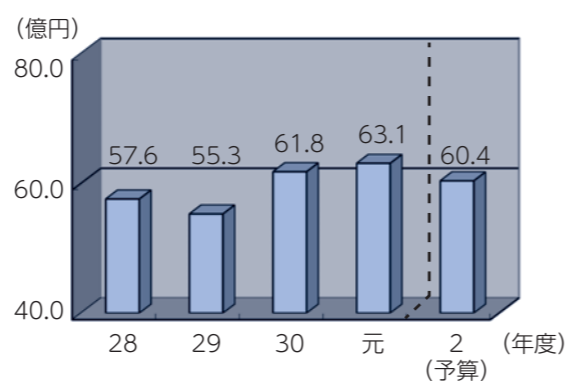
合併以降、学校施設から始まった公共施設の耐震化・長寿命化等改修や町道改良などのインフラ整備がピークを過ぎ、建設事業費は大幅に減少となりました。

今後も必要に応じ、国・県支出金や財政上有利な地方債を財源としてインフラ整備を実施していきます。

地方債(借金)残高の推移

(単位：億円)

年度	28	29	30	元	2
地方債(借金)残高の推移	57.6	55.3	61.8	63.1	60.4



合併以降取り組んできたインフラ整備のピークが過ぎたことから、今年度の建設事業費は大幅に減少し、その財源となる町債の借入れも6億8,400万円と前年度よりも4億円以上の減額となりました。

その反面、町債の償還に係る元金据置期間が終了したことによって返済額(元金)は9億4,915万円と前年度よりも1,747万円の増加となりましたが、結果として借入額が返済額を上回らない予算編成となり、より一層健全な財政運営の実現が可能となりました。

令和2年度当初予算のあらまし

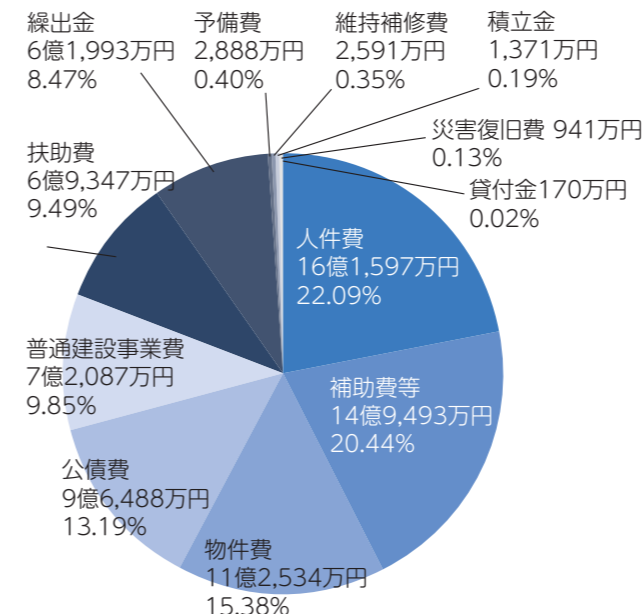
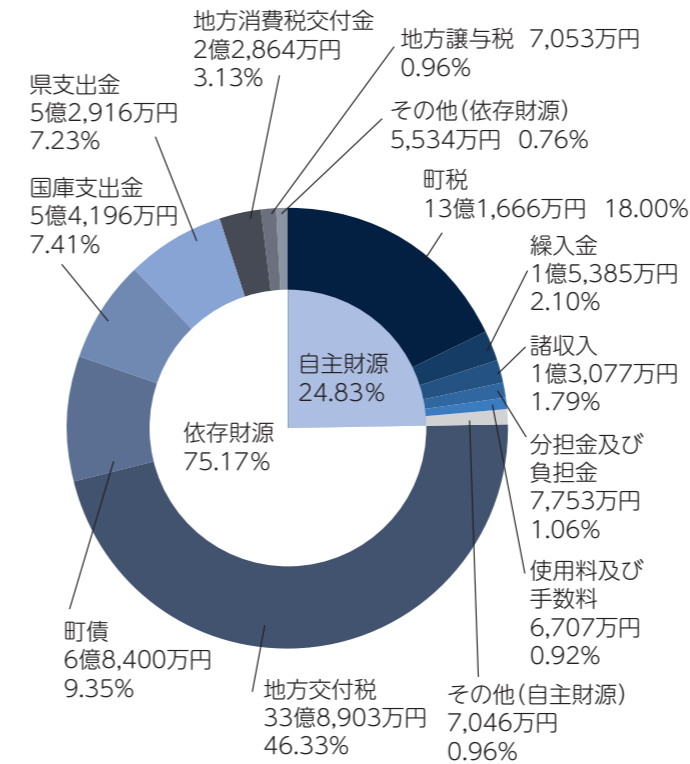
令和2年度の伯耆町一般会計及び特別会計の当初予算の概要をお知らせします。

1. 一般会計

《当初予算額》

令和2年度 73億1,500万円
令和元年度 76億6,700万円

比較 △3億5,200万円 (4.59%減)



歳入(収入) 合計73億1,500万円

主な特徴

増えたもの ※対前年度予算比

- 課税人数や所得割額の増加により町民税が増え、また、平成30年度の評価替えの影響が想定よりも少なかったことにより固定資産税が増えたため、**町税**を1,032万円増額しました。
- 偏在是正措置により生じた財源を活用した地域社会再生事業費の創設に加え、会計年度任用職員制度施行や保育無償化に伴う経費への財政措置により**地方交付税**を1億4,557万円増額しました。

減ったもの ※対前年度予算比

- インフラ整備等の減少により、各種事業の財源としていた財政調整基金や公共施設等整備基金からの**線入金**を2,958万円減額しました。
- 役場庁舎(本庁舎・分庁舎)の改修工事をはじめとした普通建設事業の完了に伴う借入額の減少により、**町債**を4億4,860万円減額しました。

歳出(支出) 合計73億1,500万円

主な特徴

増えたもの ※対前年度予算比

- 前年度末退職者数の増に伴う退職手当特別負担金の増加や会計年度任用職員制度の施行により、人件費を4億8,039万円増額しました。
- 町債の償還に係る元金据置期間が終了したことに伴い、公債費を2,505万円増額しました。

減ったもの ※対前年度予算比

- 会計年度任用職員制度の施行に伴って賃金が皆減したことにより、**物件費**を4億2,285万円減額しました。
- 役場庁舎(本庁舎・分庁舎)の改修工事をはじめとしたインフラ整備の減少により、**普通建設事業費**を2億8,041万円減額しました。
- 浄化場の統合等による鳥取県西部広域行政管理組合への負担金の減少や、企業債償還の終了や送排水施設整備事業の完了による水道事業会計への線出金の減少により、**補助費等**を1億1,544万円減額しました。

【町単独補助事業】各集落から要望がありました町単独補助事業については、全て予算に計上しました。

要望件数 (補助金額合計)	要望事業：件数（補助金額）
76件 (2,086万円)	○公共施設整備（公民館整備など）：3件（104万円） ○集落活動支援事業（地域活動補助金）：2件（22万円） ○LED街灯整備：7件（68万円） ○土地改良事業（農道、かんがい）：14件（1,091万円） ○道路改良：1件（172万円） ○農業用施設単独災害復旧事業：1件（41万円） ○ごみ集積所整備：2件（112万円） ○町道管理（清掃ボランティア）：30件（154万円） ○消防施設整備：16件（322万円）

2. 令和2年度 特別会計予算

国民健康保険事業や上下水道事業など、町が特定の事業を行う場合などに、一般会計とは区別して経理するために設けている会計です。

令和2年度は、経営・資産等の状況の正確な把握や弾力的な経営等の実現のため、農業集落排水事業特別会計、小規模集合排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計の3会計を「伯耆町下水道事業会計」とし、地方公営企業法の適用事業としました。

(単位：万円、%)

会計名	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (A) - (B)	対前年比 (A) / (B)
伯耆町町営公園墓地事業特別会計	840	787	53	106.73
伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計	20	21	△ 1	95.24
伯耆町地域交通特別会計	12,149	12,591	△ 442	96.49
伯耆町丸山地区専用下水道事業特別会計	1,018	1,021	△ 3	99.71
伯耆町国民健康保険特別会計	141,258	142,847	△ 1,589	98.89
伯耆町後期高齢者医療特別会計	14,492	13,486	1,006	107.46
伯耆町農業集落排水事業特別会計		36,860	△ 36,860	皆減
伯耆町小規模集合排水事業特別会計		5,745	△ 5,745	皆減
伯耆町公共下水道事業特別会計		18,082	△ 18,082	皆減
伯耆町浄化槽整備事業特別会計	2,780	2,624	156	105.95
伯耆町索道事業特別会計	1,845	2,202	△ 357	83.79
合計	174,402	236,266	△ 61,864	73.82

(単位：万円、%)

伯耆町水道事業会計（企業会計）	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (A) - (B)	対前年比 (A) / (B)
収益的収入	23,663	24,234	△ 571	97.64
収益的支出	28,626	28,478	148	100.52
資本的収入	25,821	36,721	△ 10,900	70.32
資本的支出	31,145	41,974	△ 10,829	74.20

(単位：万円、%)

伯耆町下水道事業会計（企業会計）	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (A) - (B)	対前年比 (A) / (B)
収益的収入	56,055	0	56,055	皆増
収益的支出	53,751	0	53,751	皆増
資本的収入	21,411	0	21,411	皆増
資本的支出	32,045	0	32,045	皆増

問い合わせ先 総務課 TEL:0859-68-3111

主な事業 当初予算に盛り込まれた主な事業を紹介します。

費目	事業名【区分】	予算額(万円)	事業内容等
総務費	溝口インター情報発信施設整備事業【継続】	963	溝口インター高速バス乗り場に隣接して設置している鬼トイレを改修し、併せて利用者に観光情報を提供できる施設として整備する。令和2年度は工事を実施する。
	鬼の館長寿命化等改修事業【新規】	932	本町の文化交流拠点施設である鬼の館の外壁や天井等を改修し、施設の長寿命化を図る。令和2年度は設計を行う。
民生費	乳児家庭保育支援事業【継続】	1,154	家庭で0才児を保育する保護者に対し、給付金を支給する。
	あさひ保育所長寿命化改修事業【継続】	1億460	老朽化が進むあさひ保育所について、不具合箇所等の修繕に加え、建物の機能や性能を向上させる改修を行い、施設の長寿命化を図る。令和2年度は工事を実施する。
	岸本保健福祉センター保健福祉棟空調改修事業【継続】	1億1,657	老朽化により冷暖房能力の低下がみられる空調設備を改修し、施設の長寿命化につなげる。また、燃料費や保守におけるコスト面で優位な電気式に変更することで、健全な施設運営を図る。令和2年度は工事を実施する。
衛生費	上水道事業会計繰出金【継続】	1億7,093	上水道事業会計が実施する老朽管の更新、送配水路施設整備、企業誘致施設整備などに要する経費の一部を支援する。
農林水産業費	有害鳥獣駆除事業【継続】	1,522	イノシシ等の被害防止のため、集落等が自衛手段として行う進入防止柵設置に対する経費の補助や、対象鳥獣の駆除捕獲により被害の軽減を図る。
	6次産業化推進事業【継続】	1,200	6次産業化及び農工商連携に係る推進活動や生産体制を含めた設計・機械整備を行う農家に対して補助金を交付する。令和2年度は、大山ワイナリー株式会社に対する補助金を交付する。
	和牛増頭対策推進事業【継続】	2,052	町内の繁殖農家が優秀な県内種牛を導入し、優良な子牛の出荷頭数を増やすことができるよう補助金を交付する。
商工費	伯耆町PR情報発信事業【拡充】	126	伯耆町の観光振興を推進するため、様々なPRとなる取組みを行う。令和2年度は、特に伯耆町内で店舗数が多いグルメ（そば、パンなど）に特化したパンフレットを制作し情報発信を行う。
土木費	町道改良事業	1億7,230	町道改良工事に係る設計費、用地取得費、工事費などを計上する。 【路線名】町道籠原橋原線、町道根雨原大坂線、町道溝口中央線、町道駅前河岡線、町道大倉大原線、町道久古5号線
	狭あい道路等改良事業【継続】	950	集落内の幅の狭い道路等で緊急車両等の進入が困難な箇所等の改良を行い、交通の利便性を向上させる。 【路線名】町道上細見1号線
	道路老朽化対策事業【継続】	1,500	道路の老朽化対策として、舗装の打ち替え等の道路の長寿命化を図る。
	道路除雪車両購入事業【新規】	907	除雪作業の円滑化を図るため、新たに除雪車両（2tダンプ）を購入する。また、鳥取県等の他団体からの払い下げによるグレーダー、タイヤショベルも併せて購入し、冬期における町道等の交通のより一層の確保を図る。
消防費	消防・防災対策事業【拡充】	1,119	避難所設営に係る物品購入等により防災体制を整備する。また、防災に係る各種補助金を交付することで、住民による防災体制の整備や意識向上を図る。上記に加え、令和2年度は「防災計画」と「職員初動マニュアル」の改定を行う。
	耐震性貯水槽整備事業【継続】	1,226	消防水利の乏しい地域に耐震性貯水槽を設置することで、火災時の水利を確保する。設置箇所は西部広域消防の調査をもとに決定する。 【設置箇所】福岡集落（下代）
	防災広場整備事業【新規】	5,601	大規模な災害に備え防災広場を整備し、災害廃棄物仮置き場と仮設住宅用地の整備を行う。
教育費	学校ICT環境整備事業【継続】	712	政府が提唱するGIGAスクール構想（「児童生徒の1人1台端末整備（タブレット・ノートパソコン）」、「校内通信ネットワーク整備」）を実現するため、令和2年度は中学校パソコン教室の端末整備や教育系仮想サーバーの導入を行う。
	少人数学級実施事業【継続】	3,000	複式学級解消並びに少人数学級編制により、児童・生徒1人ひとりに応じたきめ細やかな指導や安定した学校生活を確保するため、教員配置のための協力金を計上する。
	青雲寮長寿命化及び複合化改修事業【継続】	3,919	青雲寮について、長寿命化と複合的な利用（すこやか村の代替施設、溝口中学校調理室等）に向けた施設改修を行う。令和2年度は工事を実施する。